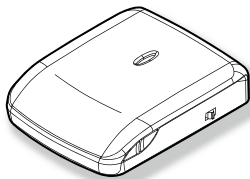


iPhone 用レーダー探知機

RADARPHONE i01

取扱説明書／保証書



対応機種

iPhone4・iPhone3GS

対応 OS

iOS4.3 以降

※ iOS のメジャーアップデートにより一部機能が正常に動作しなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付けおよび操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。なお読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

本製品は安全運転と法規走行を促進するためのものです。
スピードの出し過ぎには注意しましょう。

iRadar
POWERED





目次

目次	2	無線警報について	24
ご使用上の注意	3	オービス・GPS 警報について	25
各部の名称	9	LSC 機能	25
レーダー本体	9	付録	26
梱包内容	10	無線警報をキャンセル登録する (パスメモリ)	26
取付方法	11	初期状態に戻す (データリセット)	28
基本操作	18	無線の種類について	29
iPhone と接続し、初期設定する	18	取締りの種類と方法	33
音量を調整する	21	故障かな? と思ったら	35
本製品のみで使用する	22	製品仕様	36
警報について	23	商標について	37
レーダー警報について	23	保証規定	38
		RADARPHONE i01 保証書	裏面

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にするために誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

 **警告** 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

 **注意** 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

警告

- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
- 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

ご使用上の注意

警告

- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

注意

- 本製品にはお買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。(ただし、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません)
- 本製品の近くに他の車載電子機器を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- 本製品をご利用する際は App Store からアプリケーションをダウンロードしてご利用ください。

注意

- 本製品をご利用する際は 3G 契約した iPhone が必要です。またアプリ使用中に iPhone の通信料が発生することがあります。
- iPhone アプリを使用中は iPhone のバッテリー消費が多くなるため、充電しながら使用することをお勧めします。
- 本製品は GPS 受信機能を搭載していません。iPhone の位置情報サービスを利用し、自車位置を捕捉しています。
- 位置情報が入手できない場合や正確でない場合、自車位置が正確に表示されないことがあります。
- 本製品にはナビゲーション機能は搭載していません。
- 本製品の受信機能は、製品仕様欄に記載されている周波数帯のみ有効です。
- 電源を分岐して使用している場合や車のバッテリーが劣化している場合等、電流が足りず電源が不安定になり、本製品の電源が遮断されることがあります。

ご使用上の注意

⚠ 注意

- 一部ナビゲーションシステム、車載用 BS チューナー、CS チューナー、地上デジタルチューナーや衛星放送受信機等の車載電子機器から本製品の受信できる周波数帯と同じ電波が出ている場合、本製品が警報を行うことがあります。
- 取締り機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で、本製品がレーダー警報を行うことがあります。予めご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部）
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、レーダー波等の電波が受信できない場合があります。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお問い合わせください。
- シガープラグコード内蔵のヒューズが切れた場合、必ず同容量、同サイズのヒューズ（2A ミニ管ヒューズ）と交換してください。
- 環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった本製品の回収を弊社にて行なっています。

⚠ 注意

- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行なっておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。
- 本製品は DC12V 車専用です。(DC24V 車へのお取付けはできません)
- キーを OFF にした時、シガープラグの電源が 0V にならない車両（外車など）の車両バッテリーを保護するため、エンジン停止時は必ずシガープラグコードを抜くか、弊社オプションの ZR-01 直接配線コードでイグニッション電源に直接接続してください。
- iPhone を iPhone 非対応のオーディオ、ナビゲーション、その他周辺機器と接続した状態では本製品が正常に動作しない場合があります。
- iPhone をコンポジット AV ケーブルと接続した状態では本製品が正常に作動しない場合があります。
- iPhone3GS でご使用の場合、位置検出が若干遅くなるため、自車位置の表示や警報のタイミングが遅れる場合があります。

ご使用上の注意

本製品を使用する際の注意点

本製品の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

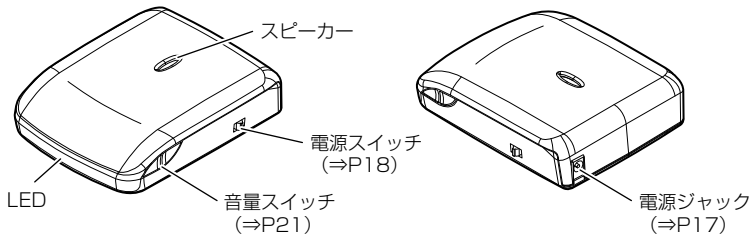
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるかまたは機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他不明な点やお困りのことが起きた時には、弊社サービス部までお問い合わせください。

2.4 FH 1

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。

各部の名称

レーザー本体



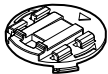
各部の名称

梱包内容

ステー (1 個)



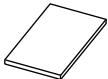
ステーブラケット (1 個) サンバイザークリップ(1 個)



シガープラグコード (1 個)
(約 4m/2A ミニ管ヒューズ
内蔵 /USB 電源出力付き)



両面テープ (1 枚)
(ステー固定用)



粘着シート (1 枚)
(ステー固定用)



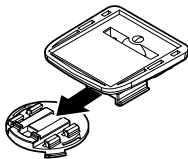
※ 取扱説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。

取付方法

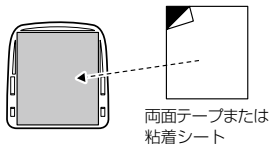
- 運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバッグ等）に影響のない場所に取付けてください。
- 道路に対して平行、レーダー本体後部を進行方向に向けて取付けてください。

ダッシュボードにステーを使い取付ける

- 1) ステーにステーブラケットを取付けます



- 2) ステーに両面テープまたは粘着シートを貼付けます

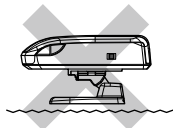
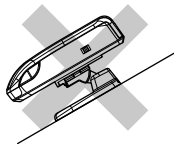


取付方法

⚠ 粘着シート使用上の注意

- ・粘着シートは汚れたり、ほこりがついたりして粘着力が弱まった場合、中性洗剤を使い洗うと粘着力が戻り、再度使用することができます。
- ・粘着シートは以下のような場所に取付けると貼付きにくく、不安定になることがあります。そのような場合は両面テープを使用して取付けてください。

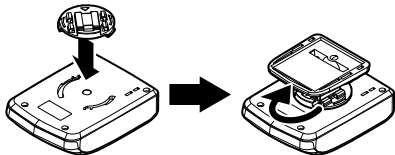
①取付け面が平坦な場所ではない。 ②取付け面が傾斜になっている。 ③ダッシュボード表面の凸凹が荒い。



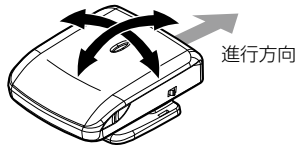
- ・ダッシュボードが変色したり、跡が残ったりすることがあります。あらかじめご了承ください。

取付方法

- 3) レーダー本体底面の取付け穴にステーブラケットを差込み、「カチッ」と音がするまで回します



- 4) 濡れたタオルなどでダッシュボード上を拭き、きれいにしてから固定します。



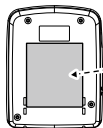
⚠ 警告

エアバッグの飛び出し場所等、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

取付方法

ダッシュボードに直接取付ける

- 1) レーダー本体に両面テープまたは粘着シートを貼付けます



両面テープまたは
粘着シート

- 2) 濡れたタオルなどでダッシュボード上を拭き、きれいにしてから固定します。



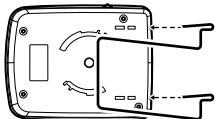
進行方向

⚠ 警告

- ・エアバッグの飛び出し場所等、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。誤った場所への取付けは、事故の原因となります。
- ・長時間高温にさらされるような場所に駐車する場合は、付属のステーを使用して取付けを行なってください。

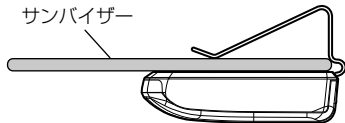
サンバイザーに取付ける

- 1) レーダー本体にサンバイザークリップを取付けます。



サンバイザークリップを本体の
サンバイザークリップ取付け穴に差し込む

- 2) サンバイザーにレーダー本体を取
付け固定します



⚠ 注意

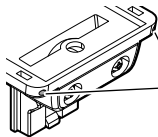
サンバイザーの厚みが薄い車両の場合、本体とサンバイザーの間に両面テープを貼付けて使用してください。

取付方法

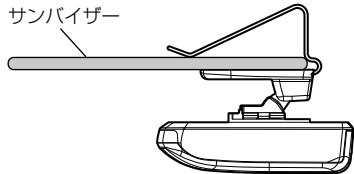
👉 アドバイス

ステーにサンバイザークリップを取付ける

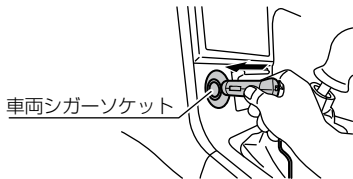
ステーにサンバイザークリップを取付けて、サンバイザーに取付ける事もできます。



サンバイザークリップ
取付け穴



シガープラグコードを接続する



アドバイス

エンジンを停止してもシガープラグに電圧が 12V ある車（一部外車など）は、オプション（別売品）の ZR-01「直接配線コード」を使用してください。

基本操作

iPhone と接続し、初期設定する

1. AppStore から『RADARPHONE』をダウンロードし、ご使用の iPhone へインストールします。

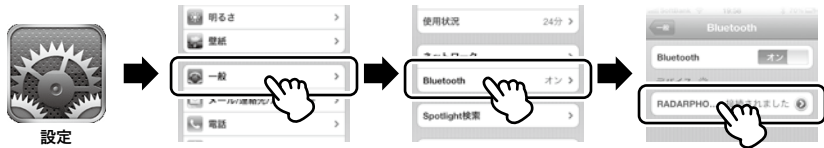


2. レーダー本体の電源を入れます。
 - ・ LED が緑色で点滅を始めます。



3. iPhone と Bluetooth 接続します。

・iPhone の『設定』 ⇒ 『一般』 ⇒ 『Bluetooth』 内の『RADARPHONE』を選択します。



基本操作

4. iPhone アプリを起動します。

- ・ iPhone とレーダー本体が正常に接続できていると、LED が青色に点灯します。

アドバイス

- ・ 『RADARPHONE』 アプリを使用する際は、必ず iPhone の位置情報サービスを ON にした状態で使用してください。『RADARPHONE』 アプリは iPhone の位置情報サービスを利用して、オービス・GPS 警報を行います。
- ・ 本製品と iPhone が Bluetooth 接続されていない場合、iPhone アプリのみでの動作は行いません。
- ・ iPhone と接続すると、iPhone アプリで変更した設定内容が本製品に反映されます。また、iPhone との接続を切断しても、反映された設定が保持されます。

5. アプリを起動後、画面下部の『GPS-DL』ボタンをタップし、GPS データをダウンロードします。



6. 次に『公開取締』ボタンをタップし、公開取締情報をダウンロードすることで初期設定は完了です。



音量を調整する

- 本製品は音量を OFF、1 ～ 10 の 11 段階で音量調整ができます。
- お買い上げ時は、音量が【5】に設定されています。



基本操作

本製品のみで使用する

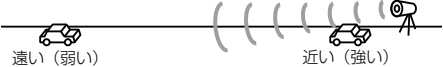

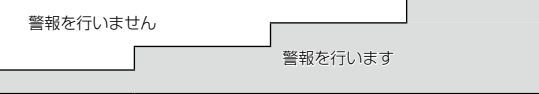
iPhone と接続しないで本製品を使用する場合、下記表の機能が変わります。

機能	本製品のみ	iPhone 接続時
GPS 警報	警報しない	警報する
レーダー警報	警報する	
無線警報		
各種警報音声	アラーム音	音声アナウンス
LSC 機能 / レーダー受信感度設定	なし	あり
各種設定変更	できない	できる
待機時の LED 色	緑点灯	青点灯 ※ iPhone と正常に接続できていない場合は緑点灯 ※設定により LED 色は変更可能

警報について

レーダー警報について

レーダー式取締り機（⇒ P33）に接近した場合、下記のように警報を行います。

レーダー式取締り機までの距離（電波の強さ）			
LED 赤点減速度		遅い  早い	
アラーム音	受信感度 (注1)	LOW	
		HI	
		S-HI	
		HYPER	
ステルス波受信（⇒ P33）	LED 表示	早い赤点減	
	アラーム音	アラーム音が鳴ります。	

※ レーダー警報中でも GPS 警報（iPhone 接続時）、無線警報を優先します。

注1 受信感度は iPhone 接続時は、LOW/HI/S-HI/HYPER/AUTO から選択することができます。本製品のみで使用する場合は、常に HYPER となります。

警報について

無線警報について

無線警報を LED 表示とアラーム音でお知らせします。



LED点滅

警報種類	LED 表示	受信レベル	点滅速度
カーロケ / 350.1 / デジタル / 署活系 / ワイド / 取締特小 / 警察活動 / 警察ヘリテレ	赤点滅	弱い	遅い
		強い	早い
パトロールエリア	赤点滅	—	早い
新救急 / 消防ヘリテレ / 消防 /	橙点滅	弱い	遅い
		強い	早い
レッカー / 高速管理車両 / 警備 / タクシー	黄点滅	—	遅い

オービス・GPS 警報について

本製品のみではオービス・GPS 警報は行いません。iPhone 接続時、iPhone の位置情報サービスを利用して警報を行います。オービス・GPS 警報についての詳細はアプリの説明を参照ください。

LSC 機能

iPhone と接続すると、iPhone アプリ内で LSC 機能の設定を行う事が出来ます。LSC 機能とは、ロー・スピード・キャンセルの略称で、渋滞など車が低速走行時は、警報音を自動的にミュート（消音）する機能です。

- [ON]iPhone の位置情報サービスによる自車速度が 29km/h 以下の場合に、GPS 警報、レーダー警報、および無線警報の警報音をミュート（消音）します
- [OFF]走行速度に関係なく警報音を鳴らす

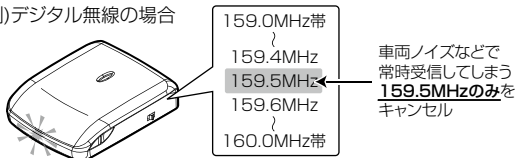
付録

無線警報をキャンセル登録する（パスメモリ）

車両ノイズや一部地域など一定周波数のみを受信したままの状態が続く場合に、対象の周波数を登録し、受信対象から外すことができます。

※ カーaoke・350.1MHz 無線・警備無線は設定（登録）できません。

(例)デジタル無線の場合



※キャンセルした159.5MHz以外の159.0～159.4MHz、159.6～160MHzを受信するとキャンセルされずに警報を行います。

・設定で OFF にした警報は、キャンセル登録に関係なく警報しません。

①無線警報中に

無線警報中




LED点滅

②音量スイッチの【+】と【-】を同時に短押しする



音量スイッチ

③「ピッピッ」と鳴れば登録完了です。

 アドバイス

無線キャンセル登録解除方法

レーダー本体をデータリセットすると登録を解除することができます。ただし、iPhoneで設定した内容もすべてお買い上げ時の状態になります。

付録

初期状態に戻す（データリセット）

登録したすべてのデータをリセット（初期化）し、お買い上げ時の状態に戻します。

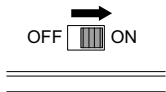
リセット方法

①音量スイッチの【+】と【-】を押しながら

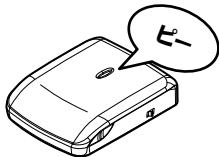


音量スイッチ

②電源を入れる



③「ピー」と音が鳴ればリセット完了です



無線の種類について

名称	内容
● カーロケ無線	緊急車両に装備された GPS 受信機より算出された位置データを、各本部の車両管理センターへ定期的に送信する無線です。

注意

- ・ カー・ロケーター・システムは間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・ 緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・ 緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わないため、本製品での受信はできません。


- ※ カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合カーロケーター無線を受信できません。
- ※ カーロケーターシステムは全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在受信できる地域であっても、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますのであらかじめご了承ください。また、新システムが導入された地域ではカーロケーター無線の警報ができません。

付録

名称	内容
● 350.1MHz 無線	取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。
● デジタル無線	各警察本部と移動局（緊急車両等）との連絡用として使用される無線です。
● 署活系無線	パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用される無線です。
● ワイド無線	警察専用の自動車携帯電話で使用される無線です。
● 取締特小無線	シートベルト、一時停止など取締現場では普通 350.1MHz 無線を使用しますが、取締りの連絡用などに特定小電力無線を使用する場合があります。
● 警察活動無線	機動隊が主に災害や行事に使用する無線です。
● 警察ヘリテレ無線	主に事件・事故等の情報収集、取締り等の時に上空と地上とで連絡を取るために使用される無線です。
● 消防ヘリテレ無線	火事等の事故処理や連絡用として使用されています。
● 新救急無線	救急車と消防本部の連絡用無線として使用されています。主に首都圏で使用されています。

名称	内容
● 消防無線	消防車が消火活動中や移動時に連絡用として使用される無線です。
● レッカー無線	東名、名神の一部高速道路や、一部地域でレッカー業者が駐車違反や事故処理などの時に業務用連絡無線を使用しています。 ※ 一般の業務用無線と同じ周波数の為、地域によっては一般業務無線を受信することもあります。
● 高速管理車両無線	NEXCO 東日本、NEXCO 中日本、NEXCO 西日本が使用している業務用連絡無線です。主に渋滞や工事、事故情報等でパトロール車両と本部との連絡に使用しています。
● 警備無線	各地の警備会社が使用している無線です。
● タクシー無線	各地のタクシー会社が使用している無線です。

付録

名称	内容
● パトロールエリア	<p>取締りに使用されている無線を連続して複数受信した際に、検問等が行われている可能性が高いと判断し、警報を行います。</p> <p> アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none">・ 受信感度の調整はありません。カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小、警察ヘリテレ、警察活動無線の内2つ以上の設定がONになっていないと、パトロールエリア警報は行いません。・ 必ず検問、取締等を行なっているとは限りません。

取締りの種類と方法

名称	種別	内容
● ステルス式取締り	有人式取締り	取締り対象の車が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。至近距離でレーダー波を発射するため、受信できないことや、警報が間に合わないことがありますので、先頭を走行するときは注意が必要です。
● レーダー式取締り	有人式取締り／オービス式取締り	レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。また、オービス式の場合は、違反車両を自動的に写真撮影します。
● 新Hシステム式取締り	オービス式取締り	レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い、警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。
● 移動オービス式／パトカー車載式取締り	有人式取締り	ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。

付録

名称	種別	内容
● ダブルオービス式取締り	有人式取締り	固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。
● ループコイル式取締り	オービス式取締り	測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。
● LH システム式取締り	オービス式取締り	速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影がHシステム方式の取締り機です。
● 光電管式取締り	有人式取締り	2点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。
● 追尾式取締り	有人式取締り	パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し、走行速度を測定し記録します。
● NH システム式取締り	オービス式取締り	通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチは ON になっていますか？ ●シガープラグコードが抜けかかっていますか？ ●車両シガーソケットを分岐していませんか？ 	18 ページ 17 ページ 6 ページ
警報をしない	<ul style="list-style-type: none"> ●音量は正しく設定してありますか？ 	21 ページ
レーダー警報をしない場合	<ul style="list-style-type: none"> ●レーダー式以外の取締りではありませんか？ 	34 ページ
iPhone と接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● iPhone の Bluetooth 設定は ON になっていますか？ ●初回接続時、Bluetooth 設定内の『RADARPHONE』をタップしましたか？ 	— —

付録

製品仕様

電源電圧	DC12V 専用	最大消費電流	250mA 以下
検波方式	FMトラッキングタイムカウント方式	本体サイズ	69.3(W) × 81.5(H) × 21(D) / mm 突起部除く
動作温度範囲	-10℃～65℃	重量	69g
受信周波数	<ul style="list-style-type: none">・ Xバンド (10.525GHz)・ Kバンド (24.200GHz)・ 取締り用連絡無線 (350.1MHz 帯)・ カー・ロケーター・システム (407MHz 帯)・ デジタル無線 (159MHz 帯～160MHz 帯)・ 署活系無線 (347MHz 帯、361MHz 帯)・ ワイド無線 (336MHz 帯～338MHz 帯)・ 警察ヘリテレ無線 (340MHz 帯～372MHz 帯)・ 消防ヘリテレ無線 (382MHz 帯～383MHz 帯)		
			<ul style="list-style-type: none">・ 取締特小無線 (422MHz 帯)・ レッカー無線 (154MHz 帯、465MHz 帯～468MHz 帯)・ 新救急無線 (371MHz 帯)・ 消防無線 (466MHz 帯)・ 高速管理車両無線 (383MHz 帯)・ 警察活動無線 (162MHz 帯)・ 警備無線 (468MHz 帯)・ タクシー無線 (458MHz 帯～459MHz 帯、467MHz 帯)

Bluetooth仕様

BT version	2.1	プロファイル	SPP
送信出力	Class2	機器名称	RADARPHONE

商標について

- iPhone は米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- "Made for iPhone" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPhone and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPhone may affect wireless performance.
- COBRA IRADAR, POWERED BY COBRA IRADAR と Powered by Cobra iRadar Logo は米国の Cobra Electronics Corporation からのライセンスにもとづき使用できる、米国で登録されている商標です。

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態において万一故障した場合、販売店を經由して無償修理致します。
- 次の場合は保証期間内においても有償修理となります。
 - 保証書のご提示が無い場合。
 - 保証書の所定記入事項が未記入、あるいはこれらの字句を書きかえられた場合。
 - 製品本体にシリアル番号が無い場合。
 - 商品が一式揃っていない場合。
 - 取付けおよび使用上の誤り、不当な修理や改造、電源の逆接による故障・損傷の場合。
 - お買い上げ後の輸送・移動・落下等の衝撃による故障・損傷の場合
 - 火災・地震・水害・異常電圧・指定以外の使用電源（電圧）およびその他天変地異による故障・損傷の場合。
 - 付属品等の消耗品の交換。
- 結露や水濡れ、過度な損傷の場合、修理不可となります。予めご了承ください。
- 修理品の送料および脱着工賃等に関しては、本保証に含まれておりません。予めご了承ください。
- 本製品の外観・仕様等は、改良の為予告なしに変更する事がありますが、お買い上げの製品に関しては、変更等の申し受けは致しません。
- 本製品は使用電子部品の製造中止により修理不能になる場合があります。予めご了承ください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 本製品が原因で生じた付随的障害、損害（車のトラブル・火災・電話代・レンタカー代・休業補償・商業損失等）について一切の保証は致しかねます。
- 本保証書はいかなる事情においても再発行致しません。大切に保管してください。